

3面	所得税、市民税・県民税等の申告はお早めに
4面	企業をつないで販路拡大等を支援「共同ビジネスマッチング」
5~7面	情報ひろば
8面	船橋の魅力発信！



発行/船橋市 編集/市長公室広報課
〒273-8501 船橋市湊町2-10-25
☎047-436-2111(代) FAX 047-436-2769

ホームページ www.city.funabashi.lg.jp/
携帯サイト www.city.funabashi.lg.jp/mobile/
フェイスブック www.facebook.com/funabashi.kouhouka

市のデータ
人口 627,661人(14人減) 世帯 277,492(14増)
男 313,458人 面積 85.62km²
女 314,203人 (平成29年1月1日現在)※増減は前月比

放火されない環境づくりを

火事から大切な家を守ろう！

出火原因
第1位は2年連続、
放火！
(疑いを含む)

昨年、市内では火災が152件発生し、出火原因の1位は「放火(疑いを含む)」、2位以下には「たばこ」や「ストーブ」などが続いています。特に昨年末から年始にかけては、市内の一部地域で放火が相次ぎました。今号では、放火させない環境づくりのほか、2面で住宅火災の予防策などをお知らせします。

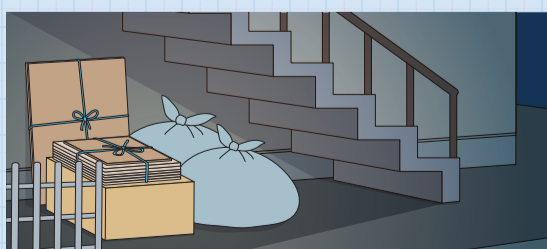
閩消防局予防課 ☎ 435-1114

一人ひとりの心がけと地域ぐるみの協力が放火を防ぎます

放火の多くは衝動的な犯行です。燃えやすいものを置かない・敷地内に入り込ませないなど、放火への警戒心をアピールすることが犯罪の抑止力を高めます。特に、地域が一体となった取り組みが効果的です。

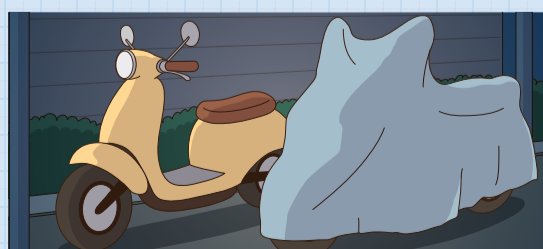
可燃物等の取り扱い

- ごみや古新聞、雑誌などは指定された収集場所・日時以外には出さない
- 共同住宅の廊下・階段などに燃えやすい物を置かない



敷地・建物内の対策

- センサーライトなどを設置し、家の周りを明るくする
- 門扉、車庫、物置などには鍵をかける
- 自動車やバイク等のカバーには防災品を使用する



地域の協力体制

- 自治会が行うパトロールに参加する
- 地域の消防訓練に参加し、放火防止の関心を高める
- 長期外出するときは、事前に隣近所へ声をかける



こんな火災に注意！ 予防のポイント

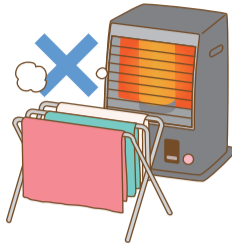
たばこ火災

- 布団やベッドの上で絶対に吸わない(寝たばこは絶対にしない)
- 灰皿に水を張って、吸い殻を完全に消火する
- 風の強い日は火種が飛ぶ危険性があるため、ベランダ・バルコニーで喫煙しない



ストーブ火災

- 周りに燃えやすいものを置かない
- ストーブの近くに洗濯物を干さない
- 使わないときは電源プラグをコンセントから抜く



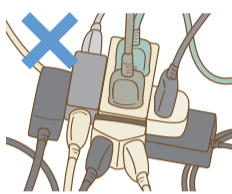
コンロ火災

- ちょっとした用事や電話でも、そばを離れるときは必ず火を消す
- 炎が急激に拡大することがあるので、天ぷら油などが発火しても絶対に水はかけない(消火器またはしっかり濡らしたバスタオルなどをかける)
- IHコンロでは専用の調理器具を使う



コンセント火災

- テレビ、冷蔵庫などのプラグがささっているコンセントにホコリがたまらないよう、こまめに掃除する
- コンセントが過熱し火災になることがあるため、「たこ足配線」はしない
- 配線コードに傷がついた状態や束ねた状態のまま使用しない



ほかにはこんな対策も

- カーテンや毛布、シーツ、エプロンなどには防災品を使用する
- 火を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制を作る

冬は空気が乾燥し、ストーブなどで火気を使う機会が多いため、住宅火災の危険性が増加します。ひとたび火災が発生すると、貴重な財産だけでなく、尊い生命にも危険がおよびます。次のポイントを参考にキッチンや寝室などの防火対策をもう一度見直して、火災予防の意識を高めましょう。

問 消防局予防課 ☎435・1114

防火対策を見直そう

「少しくらいなら...」が命取り

“住宅用火災警報器”の耐用年数は10年 使用期限を確認しましょう

「住宅用火災警報器」を設置することで、就寝中などでもいち早く火災に気づき、被害を抑えることができます。警報器は古くなると電子部品の劣化や電池切れなどで火災を感知しなくなることがあります。使用期限を確認し、計画的に取り替えましょう。また、市では、条例によりすべての住宅に設置を義務付けています。まだ設置していないご家庭は、お早めに設置してください。警報器は、各電器店・ホームセンターなどで購入できます。



▶消防職員が取り付けをお手伝いします

住宅用火災警報器を取り付けることが困難な高齢者や障害者世帯を対象に、消防職員が設置をお手伝いします。電話またはファックスでお申し込みください。

〈問合せ〉消防局予防課 ☎435-1114 FAX 435-8637

3月1日(水)～7日(火)

「春の全国火災予防運動」が始まります

防火標語 消しましょう その火その時 その場所で

2月25日(土)

市消防局音楽隊 定期演奏会

市消防局音楽隊は、市の行事などでの演奏を通じて、消防に対する市民の親しみと理解を深め、防火・防災意識を高めてもらうことを目的に活動しています。定期演奏会では、市立船橋高校ダンス部によるパフォーマンスも披露します。

〈日時〉2月25日(土)午後1時30分～ 〈会場〉市民文化ホール 〈曲目〉「オペラ座の怪人」「ライオン・キング・メドレー」ほか 〈費用〉無料

3月1日(水)

防火キャンペーン

〈日時〉3月1日(水)午前10時～11時30分
※雨天時は一部内容を変更 〈場所〉東武野田線船橋駅コンコース



〈内容〉○住宅用火災警報器の展示・説明 ○防災製品の展示 ○チーバくん、船えもんによる火災予防啓発 ○市消防設備協会による住宅用防災機器の紹介 〈費用〉無料

ストップ！ 滞納

市税は行政サービスの貴重な財源です

問 債権管理課 ☎436-2246



一人でかかえこまず早めにご相談を

災害、事業の廃止、病気等、やむを得ない事情により納付困難な場合は、納税の緩和制度等がありますので債権管理課へご相談ください。

うっかり納付忘れにご注意！ 口座振替をご利用ください

市税は納期限内に納めないと、納期限の翌日から1カ月間は年2.7パーセント、それ以降は年9.0パーセントの延滞金が発生します。納付忘れ防止のため、口座振替をご利用ください。市内金融機関等で手続きできます。

滞納処分を行っています

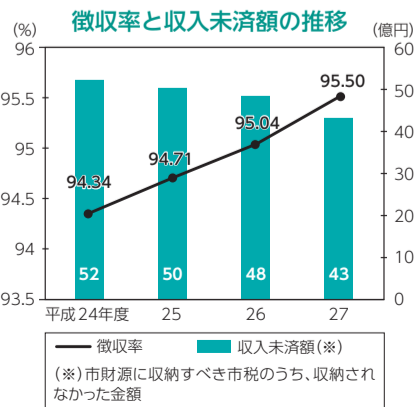
滞納処分とは、法律に基づく差し押さえ等の行為を指します。納期限までに納付されない場合は督促状を送ります。納付できる資力があるにもかかわらず納付がない場合は、預貯金、給与、生命保険(解約返戻金等)、不動産などを差し押さえます(27年度実績1315件)。

なお、税金はすべての債務に優先すると法律で定められています。住宅や車のローン、カードローン等の個人債務があるので納付できない、といった理由は認められません。

市民の皆さんに納めていただいている市税は市の歳入の約半分(46.3パーセント)を占めており、教育や福祉などの行政サービスを行うための貴重な財源となっています。市税の滞納を許すことは行政サービスに支障をきたすだけでなく、期限内に納税している大多数の人との公平性を欠くこととなります。市では将来にわたって公正な市民負担を維持していくため、納税できる資力があるにもかかわらず納付がない場合は、財産の差し押さえ等による徴収を強化しています。

船橋市の市税滞納額は約43億円

19年度に「船橋市納税コールセンター」を開設するなど徴収業務体制の強化により、近年徴収率は上昇しており、市税滞納額(収入未済額)は減少傾向にあります(グラフ参照)。その一方で、約43億円(27年度時点。前年度繰越分も含む)がいまだに滞納となっています。



船橋の魅力発信!

各分野で活躍するさまざまな人・団体と、良質な産品、歴史や文化、イベントなど、活気あふれる船橋の魅力をご紹介します。

ホームタウン NEWS

船橋を拠点とする
チームを応援しよう!



千葉ジェッツ

天皇杯優勝を報告! 市民の皆さんと日本一の喜びを分かち合いました

バスケットボール日本一を決める「天皇杯全日本総合バスケットボール選手権大会」で優勝した千葉ジェッツが、1月20日に市役所で開催された「優勝報告会」で、船橋市民をはじめとするファンの皆さんのたくさんの応援に対して感謝を伝えました。



▲優勝の喜びとリーグ戦の目標を語る司令塔の富樫勇樹選手

報告会にはジェッツの全選手、大野篤史ヘッドコーチ、島田慎二球団代表が参加。また、選手たちの雄姿を見ようと、約100人のファンが会場に詰めかけました。

小野龍猛キャプテンは「天皇杯優勝できました! これもファンや船橋市の皆さんの後押しのおかげです。今後はBリーグも制覇しての2冠達成をチーム全員で目指します」と市民の皆さんに優勝の喜びと感謝の思いを伝えました。

Bリーグのシーズン後半戦は5月まで行われます。2冠達成に向け決意を新たにした千葉ジェッツに、引き続き熱い声援を送りましょう。

▶後半戦の試合日程等は千葉ジェッツホームページをご覧ください。



クボタスピアーズ

トップリーグ 2016-2017シーズンが終了! オフシーズンも地域貢献で船橋を盛り上げます

クボタスピアーズは1月14日、秩父宮ラグビー場でNTTコミュニケーションズシャイニングアークスと戦い、17-27と惜しくも敗れ2016-2017シーズンを終了しました。6勝8敗1分、12位(16チーム中)という結果で、最高峰リーグであるトップリーグ残留を決めました。来シーズンは8月ごろ開始予定です。



▲今シーズンたくさんの声援を送ったファンへの感謝を伝えました

船橋市と「相互連携・支援協力に関する協定」を結ぶスピアーズは、オフシーズンも市内小学校でラグビー教室を開催するほか、市民の皆さんを対象にしたさまざまなイベントを実施し、船橋のまちを盛り上げていきます。

▶親子で楽しむラグビー教室&ビブリオバトル

クボタスピアーズ選手によるラグビーのルールなどを学ぶ講座と、選手がおすすめの本の紹介をして、誰が紹介した本が一番読みたくなったかを競うビブリオバトルを行います。

〈日時〉3月11日(土)午前10時~正午 〈会場〉西図書館 〈対象〉小学生と保護者 〈定員〉先着50人 〈費用〉無料 〈申込み〉同館☎431-4385へ

若者雇用の優良企業として国が認定

介護老人福祉施設「オレンジガーデン」が ユースエール認定企業に

問 商工振興課 ☎436-2477

1月5日、市内の特別養護老人ホームオレンジガーデンなどを運営する「社会福祉法人康和会」が、厚生労働大臣から「ユースエール認定企業」に認められました。同認定は若者の採用に積極的で雇用管理も優良な企業に贈られるもので、市内企業での認定は初めてです(県内5企業)。さらに、介護事業所で、同認定を受けるのは県内でも初となります。



▲理事長の穴倉喜久雄さん(写真中央)と職員の方たち

康和会・オレンジガーデンの取り組み

康和会が雇用管理に積極的に取り組み始めたのは4年前。ワークライフバランスの取り組みを始めたことがきっかけでした。職員が働きやすくなるよう、職場の課題を話し合う「カエル会議」(意識を変える、業務を変える、早く帰る)を毎月実施することや、介護職員の残業の原因となっていた記録や会議録などの書類作成業務でICTを活用し、情報を共有することで業務の効率化を図りました。

また、新卒採用職員が戸惑うことなく現場で働けるよう、先輩職員が3~6カ月間担当しながら業務を教える研修なども実施しました。

こうした地道な取り組みのおかげで、昨年の正職員41人の月平均残業時間は5.8時間、有給休暇の年平均取得率は83パーセント、そして直近3年間の新卒正職員の離職は0人と働きやすい職場環境を実現しました。



▲同会では職員が介護に入らない「日勤フリー」の日を作り、入居者を外食に連れ出すなど楽しむ日を作っています

ユースエール認定企業とは

平成27年に厚生労働省が新設した、中小企業を対象とした制度で、①新卒者等の離職率が20パーセント以下 ②正社員の月平均の所定外労働(残業)時間が20時間以下 ③正社員の有給休暇年平均取得率70パーセント以上など12項目をクリアした企業が認定を受けることができます。認定企業は若者をはじめ、働く人にとって働きやすい企業として、ハローワークで重点的にPRされ、認定企業限定の就職面接会にも参加できます。

ふおつと

写真がとらえたホットな話題

ニュース



祝!日本・デンマーク外交関係樹立150周年 現地の式典で「ばか面おどり」に大喝采

1月18日(デンマーク現地時間)にデンマーク王国の首都コペンハーゲンで「日本・デンマーク外交関係樹立150周年記念式典」が開催されました。式典のスタートを飾ったのは船橋の郷土芸能「ばか面おどり」。演舞したのは市民団体「湊町ばか面踊り保存会」の皆さん21人で、ユニークな演舞と笛や太鼓による軽快なお囃子は、同国皇太子のフレデリック殿下や政府高官など観客の皆さんから大好評を博しました。



▲演舞終了後に、会場は観客1000人の大きな拍手に包まれた

この演舞は、船橋市と同国オーデンセ市の姉妹都市交流が高く評価され、在デンマーク日本国大使館からの強い要請を受けて実現したものです。ばか面踊りは日本を代表する郷土芸能のひとつとして紹介され、式典を通じ、両国の友好関係はより確かなものとなりました。

愛称決定イベントでサッカー教室を開催

高瀬下水処理場上部運動広場の愛称は「タカスポ」に決定!

1月15日に高瀬下水処理場上部運動広場で愛称決定イベントを開催しました。同広場の愛称は市民の皆さんから募集し、231件の応募の中から安達武宏さん(上山町)と鈴木宏一くん(薬円台南小6年)の「タカスポ」に決定しました。

イベント当日は、リオデジャネイロ五輪日本代表コーチの秋葉忠宏氏をはじめとする市船サッカー部OBと、現役市船サッカー部の選手等によるサッカー教室を開催。参加した47人の小学生は青空のもと、高いレベルのサッカー技術を学びました。

▶「タカスポ」は公式サッカー場1面(少年サッカー場2面分)を確保し、サッカーのほか、ラグビーやグラウンドゴルフなどさまざまな種目に使用できます。利用の際には事前に体育施設利用者登録が必要です。詳しくは生涯スポーツ課☎436-2910へお問い合わせください。



▲愛称の提案者である安達武宏さん(写真左)と松戸徹船橋市長(写真右)



▲市船OBで元U-22日本代表のカレン・ロバートさんも参加